

1 研修に関する事業

(1) 研修体系

- ・義務教育学校前期課程は「小学校」、義務教育学校後期課程は「中学校」にそれぞれ含まれる。
- ・中等教育学校前期課程は「中学校」、中等教育学校後期課程は「高等学校」にそれぞれ含まれる。

ア 教職員の資質・能力の向上を目指す研修体系

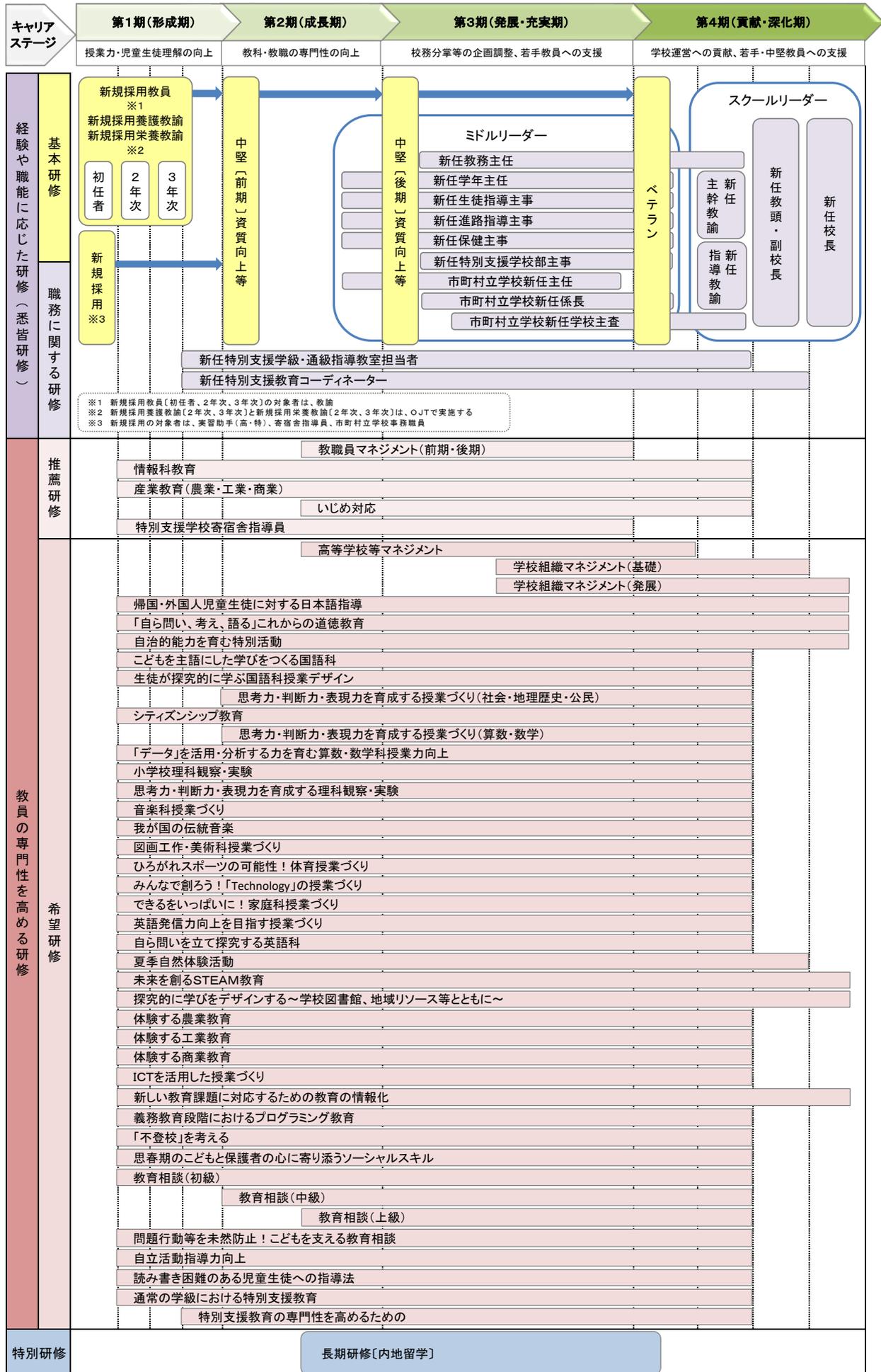
教職員としてのキャリアステージに即して、必要な研修の機会を確保するとともに、国の動向や本県教員の資質向上に関する育成指標を踏まえ、必要とされる研修を長期的展望に立って体系化し、実施する。

基本研修（42 講座）				
新規採用 〔初任者、2年次、3年次〕 (講座番号 1～14)	新規採用 (講座番号 15～18)	中堅〔前期〕資質向上等 (講座番号 19～28)	中堅〔後期〕資質向上等 (講座番号 29～36)	ベテラン (講座番号 37～42)
採用1年次から3年次の教員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	新規採用教職員が、実践的指導力と使命感を養うとともに、幅広い知見を得る。	教育活動全体の在り方について捉え直し、自己の課題を明確にするとともに、授業力の向上を図る。	広い視野をもって組織マネジメントに参画するための知識・技能を習得することを通して、学校における諸課題を解決する能力の向上を図る。	校内や地域の学校等において、若手・中堅教員への助言ができるような資質・能力の向上を図る。
○初任者（小・中・高・特・養・栄） ○2年次（小・中・高・特） ○3年次（小・中・高・特）	○新規採用（実高・実特・寄宿・事務）	○中堅〔前期〕（小・中・高・特・養・栄・実高・実特・寄宿） ○6年次事務	○中堅〔後期〕（小・中・高・特・養・栄・実・寄宿）	○ベテラン（小・中・高・特・養・栄）

専門研修（75 講座）		
悉皆研修（講座番号 43～68）		
各職務に関する専門的資質・能力の向上を図る。		
○新任校長（小・中・高・特） ○新任教頭（小・中・高・特） ○新任主幹教諭 ○新任指導教諭	○新任教務主任（小・中・高・特） ○新任学年主任（小・中・高） ○新任生徒指導主事 ○新任進路指導主事（中・高・特） ○新任保健主事	○新任特別支援学校部主事 ○新任特別支援学級・通級指導教室担当者 ○新任特別支援教育コーディネーター ○市町村立学校新任主任 ○市町村立学校新任係長 ○市町村立学校新任学校主査 ○臨時的任用職員（高・特）
推薦研修（講座番号 69～76）		
教職の各領域に関する専門的資質・能力の向上を図る。		
○教職員マネジメント（前・後）	○情報科教育 ○産業教育（農業・工業・商業）	○いじめ対応 ○特別支援学校寄宿舎指導員
希望研修（講座番号 77～117）		
教職の各領域に関する自主的研修の充実を図る。		
○高等学校等マネジメント ○学校組織マネジメント（基礎・発展） ○帰国・外国人児童生徒に対する日本語指導 ○「自ら問い、考え、語る」これからの道徳教育 ○自治的能力を育む特別活動	○子どもを主語にした学びをつくる国語科 ○生徒が探究的に学ぶ国語科授業デザイン ○思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（社会・地理歴史・公民） ○シティズンシップ教育 ○思考力・判断力・表現力を育成する授業づくり（算数・数学） ○「データ」を活用・分析する力を育む算数・数学科授業力向上 ○小学校理科観察・実験 ○思考力・判断力・表現力を育成する理科観察・実験 ○音楽科授業づくり ○我が国の伝統音楽 ○図画工作・美術科授業づくり	○ひろがれスポーツの可能性！体育授業づくり ○みんなで創ろう！「Technology」の授業づくり ○できるをいっぱい！家庭科授業づくり ○英語発信力向上を目指す授業づくり ○自ら問いを立て探究する英語科 ○夏季自然体験活動 ○未来を創るSTEAM教育 ○探究的な学びをデザインする～学校図書館、地域リソース等とともに～
○体験する農業教育 ○体験する工業教育 ○体験する商業教育 ○ICTを活用した授業づくり ○新しい教育課題に対応するための教育の情報化 ○義務教育段階におけるプログラミング教育	○「不登校」を考える ○思春期の子どもと保護者の心に寄り添うソーシャルスキル ○教育相談（初級・中級・上級） ○問題行動等を未然防止！子どもを支える教育相談	
○自立活動指導力向上 ○読み書き困難のある児童生徒への指導法 ○通常の学級における特別支援教育 ○特別支援教育の専門性を高めるための		

特別研修		
長期研修〔内地留学〕（3、6か月）	スキルアップ研修（6か月）	指導改善研修（1か年）
長期間の研修を通して、より広い視野に立った教員としての資質・能力の向上を図る。	指導に課題や不安のある教員に対して、課題に応じた月1回の専門的な研修を実施することにより、指導力の向上をねらいとする校内研修の充実に向けて支援する。	学習指導、生徒指導及び学級（ホームルーム）経営等に課題のある教員に対して、課題に応じた研修を実施することにより、指導力の向上に向けて支援する。

イ キャリアステージに応じた教員研修



※ 各段階は、第1期(1～5年)、第2期(6～11年)、第3期(12～23年)、第4期(24年～)を想定している。